

# 研究実施のお知らせ

2026年1月15日 ver.1.0

## 研究課題名

小児鼠径ヘルニアの臨床所見に対する早産の影響についての後方視的研究

## 研究の対象となる方

2015年1月から2025年12月の間に島根大学医学部附属病院で小児鼠径ヘルニアと診断され、腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を受けられた方。

## 研究の目的・意義

本研究は、早産が小児鼠径ヘルニアの臨床所見に与える影響を明らかにすることを目的としています。早産児では小児鼠径ヘルニアの発症率が高く、特に新生児期、乳児期など早い時期の発症率が高いことが知られています。しかし乳児期以降の学童期など遅発性に発症する場合まで含めた早産と鼠径ヘルニアの関連については十分に検討されていません。本研究により早産と小児鼠径ヘルニアの臨床的特徴との関係を明らかにすることで、より適切な管理、治療介入につながる可能性があります。

## 研究の方法

この研究では、診療録に記録されている情報を利用します。利用する情報は、出生歴、在胎週数、出生体重、発症時期、手術時年齢、手術所見などです。これらの情報は、通常の診療の中で既に取得されているものであり、新たな検査や治療は行いません。

研究に用いる情報は、個人が特定されないように氏名や患者ID等を削除し、研究用の番号に置き換えて管理します。他の機関へ情報を提供することはありません。また、外国に情報を提供することはありません。

## 研究の期間

2026年3月9日～2027年3月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 消化器・総合外科 宮田 豪

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年8月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 消化器・総合外科 宮田 豪

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232